

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今、5年生は、明石っ子タイム（総合的な学習の時間）で、よりよい社会の実現をめざす世界共通の目標「SDGs」について学び始めました。持続可能な開発目標について学び、未来への第一歩を歩み出そうとしています。

SDGsを調べてみて、世界には、まだまだ直さないといけないところがあるのだと感じました。みんなが目標を守れば少しずつ完璧な世界に近づいていくと思います。世界のおよそ22億人が水不足だということにおどろきました。ぼくは、すべての目標を達成するためにできることをしようと思います。

ぼくは世界が危ないことを実感しました。2030年までに目標を達成することができるのか不安があります。SDGsの17の目標を達成していくには、一人一人が地球を守るために、人類の絶滅をさけるために、地球を大切にしていこうという思いをもたなければいけないと思いました。

ぼくたちは、楽しく生活ができていますが、世界には貧困や飢餓などで苦しむ子どもたちがいるということを知りました。そのような子どもたちは、食べ物や水などが不十分で病気になっても病院に行けないし勉強もできません。ぼくたちの次の世代には貧困を減らして、一人でも多くの子どもたちが楽しくらせる社会をつくらせていきたいです。

SDGsについて調べてみると、数十年後には食べるものがなくなったり人間が地球上に住めなくなったりするかもしれないことを知りました。私たちが今できることは、好き嫌いをせずに食べることや電気を節約すること、リサイクルをしてできるだけ長く使うための工夫をすることなどです。一人一人の行動が大切だと思いました。

世界には、私たちのように水や食料が十分にある国が少ないということや、学校に通えていない子どもがいることなどを知りました。調べてみると、世界では、捨てられている食べ物が年間600万トンもあることがわかりました。これから、今の私たちにできることを考えてみようと思いました。

ぼくは、SDGsのことをあまり知りませんでした。SDGsはより良い未来のためにつくられた目標で、一人一人が取り組まないといけないことがわかりました。ぼくは、世界の人々がきちんと生活できていると思っていましたが、そうでない人がものすごく多くてびっくりしました。これからSDGsのことをくわしく調べて、自分にできることを取り組んでいきたいです。

